

2021(令和3)年

9月号

日が暮れるのが段々早くなる。
もう彼岸の月、ツツツボウシも手把み

s h i n k o h

心耕

心 耕 会

西光寺の心耕

今月の行事

二十三日(水)
二十四日(木)
二十五日(金)
二十六日(土)
二十七日(日)

秋季彼岸会

二十三日・午後二時より

お勤めー後夜礼讃
法話ー若住職

二十三日・午前十時より

お中日
お勤めー般若講
法話ー住職

午後一時より

お勤めー晨朝礼讃
法話ー住職

二十四日・午後二時より

お勤めー日中礼讃
法話ー三好さん

お磨き

二十日十時

草刈り

十九日八時

御展朝
毎朝
6時半

常例法座や写経会、勉強会は中止。毎朝の
鳥島洲戦没者墓園で行なわれる全戦没者追悼法座は既述
だけて

西光寺の今年の秋椿は、どうした
ことが、梅雨どきにアジサイと一緒に
に少し咲いて、それから二三輪が咲
き続けている。そして小さな株の
アジサイまで咲いている。変だなと
思っている。ツツツボウシが思っ
ている。いつその秋だ。

赤桐さんの柿は去年の倍以上の実
をつけたが、大きく小さい。熟れるのも
早く、一っ手にと。たら完全し熟し
ている。下に引くとスポッと抜け
そのまま口へ。甘い。皮をむくには
小さすぎる柿。これから夏が早い
ころちが早いから、食べられただけ食べ
よう。

コロナの影響は大きく、あちこち
で辛い話を聞く。色んな事をおきて
いるが、コロナではななく、
コロナで、

如来の願心が

我一人に成就したのが

信心である

安田理深

阿弥陀様（如来さま）の願いがあらゆる障りを超えて、この胸に届き至って下さって、ナンマンダブと溢れ出てくださる。ナンマンダブナマンダブ、はあ有りがたい。

初めの言葉を百姓のおばあさんはこう話されます。おばあさんの故郷はダムに沈んだ村です。

いつの年か、日照りが続いてダムが干上がり、湖底に沈んだおばあさんの村が姿を現しました。おばあさんは子供たちと一緒に村を訪ねました。湖底に降りると家々の形はもう無くなっています。道や石垣、家の礎石はそのままに残っています。元の我が家の跡に着くとおばあさんは来る時から持っていたのでしよう、ポケットからマジックを取り出し

キヤップを外して礎石の一つに大きな字で「南無阿弥陀仏」と書きました。全部の礎石に「南無阿弥陀仏」と書きました。近くの転がっている石にも書きました。「なんまんだぶ」とひらがなで書きました。大きな石には大きな字で、小さな石には小さな字でどんどん書いていきました。ナンマンダブナマンダブと歩きながら書きながら念仏を称え続けていきました。

福井県の九頭竜ダムの昭和四〇年頃の話です。大野郡和泉村、古くは穴馬郷と呼ばれた地域で、一年の半分は雪に埋められるところです。御開山も蓮如さんも昨日まで一緒に生きておられたように暮らしていたという山奥の村です。

浄土真宗の特徴の一つは、学者の難解な話をほとんど学校へも行かなかったような門徒が、平生（普段）の言葉で語るといふことです。村に来てくれる坊様たちの話を聞き続けて、日暮らしの中に働き続ける如来さまを決して疑わなかったのです。ナンマンダブナマンダブ

譏嫌

夏休み、コロナ禍で遠出出来ないこともあり、妹家族の所



八月二十八日
本を二十冊読む
宿題が見える
小二娘 君在私

へ一泊。ビールを飲みながら子供達と遊んでいると、妹から「久しぶりにお酒と汗の匂いが混ざったのを嗅いだ」と言ってきた。今では見られない、帰りの電車で少しのご褒美を楽しんだ仕事帰りの人達の匂いである。今回ご紹介の「譏嫌」は、お酒等を控えましょうという仏教の戒律の一種です。世間では「機嫌」という漢字で、

「機嫌」は様々な場面で用いられます。元は、「譏嫌」で、「譏る+嫌う」の意味が含まれます。出家者の生活は

経済活動生産活動が禁止されています。托鉢等をして在家の人々から支えられて修行に集中出来たのです。世間から支えられているのですから、人々に嫌な思いをさせないよう譏嫌戒を制定され、お酒や五辛（ねぎ、ニンニク等）を禁止されました。

この「譏嫌」から嫌な思いをさせないの意が強くなり、世間では「機嫌」となりました。



こんなところに 仏教用語

用いて
教して
仏紹介
なして
近を
身語
います。

鬼子母神

子供の
安全の神
様として

有名な鬼子母神。仏教の読み方では「きしもじん」と読みますが、「きしぼじん」と習いで読むこともあり。別名は訶梨帝母

鬼子母神は元々邪神でした。多くの子どもがいて、五百とも千とも万ともいわれます。インドの王舎城という町で子どもを奪い食い殺していましたが、お釈迦様がやめさせようと策を練ります。鬼子母神が最愛する末子を隠したのです。

鬼子母神は、探せど見つからず狂乱状態になります。いよいよ困り果ててお釈迦様を頼ると、お釈迦様が

「千人のうちの一子を失うもかくの如し。いわんや人の一子を食らうとき、その父母の嘆きやいかん」と戒めました。それから仏法に帰依し、子どもを守ることを

誓い人々に敬われるようになりました。

鬼子母神の顔は天女や鬼の型があります。鬼は特に法華經に説かれ、仏法を守護するため、相手を屈服させる意味合い

が強くなり鬼の形相が用いられます。

鬼子母神は被害者の痛みがわかるようになり

ました。さて人間は・・・？



法座案内

十二日 定例法座 休み

二十二・二十三・二十四日

秋季彼岸会

彼の岸、極楽浄土を思わさせていただく時間、いのちを考える時間、阿弥陀如来のすくいを考える時間、それが彼岸会です。今年は蜜を避けるためお中日のみ、二回開催を致します。

日付	時間	法話
二十二(水)	十三時	若住職
二十三(木)	十時〜十三時	住職
二十四(金)	十三時	三島さん

*お彼岸の家庭参りご希望

の方は、お寺に直接連絡をして下さい。

*感染症対策をお願い致します。

各種ご案内

・お朝事

毎朝六時半〜七時、お勤めをしています。日々のお参り、命日などにお参り下さい。

・草取り

十九日(日)八〜九時 これだけ間隔離して行います

・写経会

お休みです。

・壮年会・婦人会主催の勉強会

壮年会 休み
婦人会 休み

・門信徒会費 口座振込について

振込番号です ゆうちよ銀行
西光寺門信徒会 00180-0-713424
会費 年間一万二千元

・愚痴聞き場「あみだぐち」

若手僧侶で愚痴聞き場をラインで設けています。以下からアクセス!

・おみがき

仏具をきれいにします。簡単な作業です。二十一日(火) 十〜十二時 弁当付

・心耕発送者募集!

心耕(月刊西光寺新聞)発送作業をお手伝いいただける方を募集します。

形態…三カ月に一度 主に月初めの平日 時間…一〇時〜一二時 特製ランチ付

・西光寺公式アカウントが出来ました

西光寺のライン用アカウントが出来ました。お寺の行事などを配信予定です。ラインをされている方は、左のQRコードから登録してください。

・新作仏教紙芝居もうすぐ完成!

新作紙芝居「逆襲の長生」がまもなく完成です。英語翻訳と堂が編集の日々でございます。他の動画もありますので是非ご覧ください

・感染症対策について

37.5℃以上の発熱、咳が出る方はお参りをお控え下さい。マスク着用、消毒にご協力下さい。法座等の集まる行事では、念の為、氏名をご記入頂く場合があります。

急な予定変更の場合がありますので直接連絡をするか、HPを参考にして下さい



執着

執着とは、こだわり、囚われ、固定観念のことです。執着は一人で生活をする上では何ら問題を生じることはありません。色々な関係性には善し悪しが出てきます。また宗教には全くいらぬことです。

まず執着は我として生じます。生後、目が見えるころには確立されます。多くの方がほぼ一生、我を通して過ごします。次に呼ばれ続けた名前です。現代では一生使い続けます。かつて日本では幼少期の名前、元服時の名前、得度の名前等々あつて、他の人に命名されたり自分で名のつたり……。北斎や広重の本名は知りませんが雅号はかなり多く、作品や場所などで使い分けていたようです。名乗りを変ええることは平気だつたように思います。話を戻して、家族の癖や言い回し、趣向など諸々のものが刷り込まれていきます。大きくなると学校や近所の人から競争やら慣習やらを刷り込まれ、社会に出ればああでもないこうでもないと勝手な常識とやらを刷り込まれていきます。正しいことや無意味なことが刷り込まれるならまだしも間違っていることが刷り込まれていると大変なことになるようです。私たちはある種、生涯において新聞・マスコミなど多くのメディアや流行などのあらゆる周囲のものから色々なことが刷り込まれています。これが我として大きく膨らんでいる状態です。

次に前の我に關係するのですが世間体です。これに執着する人はかなり多いです。關係を穩便にしようとするのと私の萎縮が始まります。世間の常識や習慣と異なっていたら、何を言われるかと恐怖心の中に落ち込んでしまつていく状況です。他人を操作しようとするバンドルや棍棒として使うなら立派な政治的道具となりえます。しかしそれは人に恐怖を植え付け、不平等を助長するようになりますので道具としての使用は避けねばなりません。世間体という檻の中で自由を失いもがき苦しんでいるのが現状です。それでも世間体を手放せずにいます。それは前段の刷り込みなのです。可笑しなことだと気づいても、恐怖心

が先立ち勇氣が持てず世間体という魔物に屈してしまふのです。改善のしようがないこのような世間を娑婆といいます。このような社会に対して親鸞聖人は一人抵抗します。『教行信証』に「人倫の喩言を恥じず」とか「人倫の嘲りを恥じず」と立ち向かっています。

切手やコインの収集、鉄道オタクなど色々な執着があります。特に激しいのが学者です。科学者や発明家などは執着と言うよりも没頭に近いのだと思います。問題になるのは宗教を学んでいる学者の方々です。經典と言う權威に執着し、あらゆる人々と論争をしたりするからです。經典は教えの源ではあるが、權威ではありません。同じ經典を開いても進む方向が異なったりします。刷り込みの影響によるものなのです。仏陀も同じ内容の事を相手が異なれば言葉を変えて説明しています。それでも受け取り方は異なつていただろうと想像します。經典の目的は人を導くことだけなのです。人は導きの先に気付けば最早經典は不要なのです。ところが学者は經典の言葉尻を權威の如く示し、自分は間違つていないことを証明しようとしています。学者さんたちが間違つていようと正しかろうと凡夫には何ら關係が無いことなのです。学者は經典を權威化し、さも自分に權威があるかのようにふるまつてしまふのです。そしてこの權威者を知つていくという思い込みの權威を振りまいて追隨する信者も現れるのです。刷り込みの連鎖です。芸能界で言えばファンクラブです。親鸞聖人はこれを憂えて我が身に引換て宗教に携わる人に「よしあしの文字をもしらぬひと凡夫はみな まことのころなりけるを 善惡の字しりがほ学者はおほそらごとのかたちなり」また「是非しらず邪正もわかぬ このみ凡夫なり 小慈小悲もなければ 名利に人師業者をこのむなり」と戒めているのです。このようなことが『歎異抄』の異議であり覚如上人の『改邪抄』の問題でもあつたわけなのです。

私たちは色々な事を刷込まれていくにつれ、刷込まれたものを自分で執着してしまいます。刷込みが取除かれるのが宗教なのです。取除きに気付いた時を不退転と言ひ除かれた先を浄土と言ひます。

住職多感

色んなことがありすぎて何を書いても中途半端になるようで、空回りするばかり。役に就いたものだから電話は鳴るしパソコンも覚えねばならない。メールが届いているかもしれないので日に一度はパソコンを開かねばならない。おかしなことを見つけるとそれに対処せねばならない。もう

面倒くさいと放り出したくもなるが、やりますと引き受けた以上次にバトンを渡すまでは何とか頑張らねばならない。ヨイシヨイシヨのドッコイシヨのナンマンダブ。

金メダルガブリの河村市長。その職員への謝罪文をニュースで見ているの思い。私とまるで同じところがある。改まった字が書けないのだ。この「心耕」の表紙の字は全部私の字。子供でももっと上手に書ける子は多い。若住職が小学生の時、親に書いてもらいなさいと先生に言われて持って帰った文書に私が書いて持たせたら、先生に

叱られたと行って帰ってきた。上手に書けと言われても書けない。せめて丁寧にと言われても長続きせず愈々混乱するばかり。本当に改まって字を書くことが出来ないのだ。

川村市長、ホトホト困り果てたことだと思ふ。恥を承知の出来事だったと思う。

パソコンの字はきれいだが情がない。下手くそでもよい。せめて自筆で書きなさい。その通り、だがそれが一番つらいのです。

映写機・フィルムを持って東北の工業高校を会社案内で回って歩く。移動は主に汽車。その日最後の高校を回り終えると車中で一杯、宿に着いて一杯。賑やかな道中であつたという。今は昔の話。交通網の発展はそのまま忙しさの増長になった。

京都からの帰り、新幹線に乗るときには、ビールの500の缶を二本とつまみを買って東京駅には眠って就く。もの凄い贅沢な時間だ。しかし周りは車中でも仕事をしている人が多い。何やら申し訳ないと思う

十月の予定

・十二日 常例法座

・二十四日 日曜法座

・十七日、草取

他は未定です。

常例・日曜法座もコロナの影響です。
しかしコロナも色んなことを
教えてくれます。

発行

浄土真宗本願寺派(西)

西光寺

〒二九〇〇〇二四

千葉県市原市根田

七三三二一

TEL. 0436-22-7412

FAX. 0436-24-1652

HP: <https://www.saikohji.net>

MAIL: saikohji@saikohji.net